



〒104-0044
東京都中央区明石町10-1
聖路加国際大学礼拝堂
TEL 5550-2416
TEL 5550-7043
FAX 5550-7070
E-mail: chapel@luke.ac.jp
URL: <http://nssk.org/tokyo/church/luke>

2021年10月3日 No. 263



聖書に学ぶ会

リモート (Zoom) で行っています。

第1・第3木曜日 午前10時 新約聖書 (上田司祭)

第2・第4火曜日 午後5時30分 旧約聖書 (関司祭)

ご関心のある方は、チャペルにお問い合わせください。

巻頭メッセージ

心を柔らかく

礼拝案内

月・火・木・金曜日

■午前8時30分 朝の礼拝 トイスラーホール

水曜日

■午前8時30分 聖餐式 トイスラーホール

※第2水曜、第3火曜、第3水曜の礼拝は午前8時45分～

日曜日

新型コロナウイルス感染症のため、日本聖公会東京教区では公祷を休止していますが、日曜日10時半より、旧館チャペルにて簡単なお祈りをしています。また、次の礼拝は引き続き執り行います：

■午前7時 聖餐式 トイスラーホール

巻頭メッセージ

心を柔らかに

司祭 シモン・ペテロ 上田憲明

毎日の朝の祈り、朝の礼拝で声に出して読むことを祈禱書で勧められている詩編九五編の八節に、「今日、神の声を聞くなら、……、心をかたくなにしてはならない」という言葉があります。……にしたところは、「メリバのあのときのように、マッサの荒れ野の日のように」という言葉で、出エジプトの出来事が背景にあります。エジプトで奴隷だった人たちが、なんとかエジプトを脱出して、奴隷状態から自由になったものの、物質的には困窮してしまいそうになる旅をしていた時のことです。モーセを通して神様に導かれて荒野を旅していた人々は、食べ物や飲み物が自分の思った通りに手に入らなさそうだと心配し、不安になります。愚痴を言い始め、やがて自分たちをエジプトから導き出したリーダーのモーセをも殺そうとし始めます。モーセを殺してしまつたら、もつと事態が悪くなるだけで、何の解決にもならないのに、怒りや不満があふれてきて、心をかたくなにしてしまった人たちは、実行に及ぼうとします。

さまは、わたしたちの心や魂に必要なものを与えようとしてくださいます。その時に、わたしたちが日常生活で絶対必要だと思つている物がそのリストにないと、なぜなのでしょう？ と心をかたくなに、してしまいやすいわたしたちが、いるのではないのでしょうか。ひよつとすると、主の祈りの中に、「日ごとの糧を今日もお与えください。」とあるのは、神さまにわたしたちが日常に必要な物質的なものもぜひください、と神さまに思い出してもらつたためなのかもしれません。

心をかたくなにせず、柔らかにする必要がとりわけあるのが、わたしたちが困窮した時、不安になつたり、心配したりした時、不満に思う時、怒りに満ちそうになつた時なのではないでしょうか。そういう時に心をかたくなにしている、もつと傷つきそうに思つて、かたくなになつてしまうのかもしれない。そういう時こそ、イエスさまが十字架に架かつてまで、わたしたちに教えてくださった事を思い出しましょう。神さまがわたしたちの根本的な幸せ

を願つてくださっていることに信頼を置き、今日も感謝すること、賛美することに目を向けて、心を柔らかに歩いていきたいもの

だと思いません。毎日を心柔らかに生きるための勇気も日々わたしたちに与えられるようにと願つていきます。